

平成29年度  
笠間市教育委員会外部評価報告書

平成29年11月  
笠間市教育委員会

## 目 次

|   |                       |    |
|---|-----------------------|----|
| 1 | 目的                    | 1  |
| 2 | 対象事業の選定               | 1  |
| 3 | 外部評価                  | 1  |
| 4 | 点検・評価結果の公表等           | 2  |
| 5 | 教育目標                  | 3  |
| 6 | 点検・評価対象事業一覧           | 4  |
| 7 | 評価事業の結果               | 5  |
| 8 | 事業個別評価書               | 8  |
|   | 参考資料                  |    |
|   | 評価事業に関する笠間市教育振興基本計画指標 | 19 |
|   | 教育委員会の活動状況            | 20 |
|   | 笠間市教育委員会外部評価委員会設置要綱   | 26 |

## 1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことになっています。また、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たしていくこととされています。

笠間市教育委員会でも、この法律に基づき、平成28年度の教育委員会事務事業の点検及び評価を教育に関し学識経験者の助言等をいただき、教育行政サービスの質の向上と市民への説明責任を果たしていきます。

## 2 対象事業の選定

点検評価の対象事業は、笠間市総合計画後期基本計画に定める事務事業に基づき、平成28年度に教育委員会が行った主要な9事業を対象としました。

## 3 外部評価

外部の学識経験者で構成された「笠間市教育委員会外部評価委員会」により、各担当課の事業ヒアリングを実施し、評価事業の客観性の検証と改善に対する意見及び提言等を行いました。

### (1) 外部評価の視点

- ①評価の客観性、信頼性の確保を図るため、内部評価の客観性を検証します。
  - ア. 事務事業の設定は適切か
  - イ. 指標の設定は適切か
  - ウ. 現状の把握や課題の認識がされているか
  - エ. 分析を踏まえ、論理的な方向性が選択されているか
- ②職員の意識改革・事務事業の改善につなげるため、課題解決への取組を検証します。
  - ア. 事務事業が課題解決の手段として妥当か
  - イ. 事務事業の実施方法は妥当か
  - ウ. 事務事業の効果、効率性は適切か
- ③基本計画に記載されている数値目標を含む事業について、指標を評価します。
  - ア. 指標の設定は適切か
  - イ. 目標値、見込値の設定は適切か

- (2) 外部評価委員会 開催日 第1回 平成29年10月11日(水)  
 第2回 平成29年10月19日(木)  
 開催場所 笠間市役所 教育棟 2階 教育委員会室

(3) 外部評価委員会委員(敬称略)

| 職名   | 氏名     | 備考              |
|------|--------|-----------------|
| 委員長  | 小川 哲哉  | 茨城大学教授          |
| 副委員長 | 増田 真哉  | 元公立小学校長         |
| 委員   | 渡邊 洋子  | 常磐大学准教授         |
| 委員   | 深澤 日出男 | 元笠間市 PTA 連絡協議会長 |
| 委員   | 石上 節子  | 元笠間市職員          |

## 4 点検・評価結果の公表等

(1) 議会への報告

点検・報告の結果については、報告書を作成し市議会へ報告します。

(2) 公表

報告書を市ホームページにより公表します。

## 5 教育目標

### 知性を高め ひとりひとりのもちまえを伸ばす

#### 「知性を高め」とは

学校教育を含め、生涯にわたって学びの力を培うという観点から、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を身に付けていくことをいう。

#### 「もちまえを伸ばす」とは

その人がもっているよさ（個性）を大切にするとともにそれが発揮できるようにすることをいう。

### 自然や文化を大切にし 郷土を愛する心をつちかう

#### 「自然や文化を大切に」とは

（市民憲章にあるまちづくりのねがいとも重なる）生まれ育った郷土である笠間の自然や歴史と共にはぐくまれた文化を大切にし、未来に受け継いでいくことをいう。

#### 「郷土を愛する心をつちかう」とは

笠間の自然や文化を大切にし、ふるさと笠間を愛する心をつちかい、郷土の発展に努めることをいう。

### 豊かな感性をはぐくみ 健やかな身体を養う

#### 「豊かな感性をはぐくみ」とは

自らを律しつつ、社会の一員としての責任感や規範意識を持ち、他人と共に協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな感性(人間性)をはぐくむことをいう。

#### 「健やかな身体を養う」とは

たくましく生きるための健康や体力をいう。

## 6 点検・評価事業一覧

- (1) 学務課
  - ①英語教育強化推進事業
  - ②スクールソーシャルワーカー配置事業
- (2) 生涯学習課
  - ③生活困窮者学習支援事業
  - ④文化財活用事業
- (3) 学務課
  - ⑤教育情報ネットワークシステム運用管理事業
- (4) 図書館
  - ⑥図書館サービス事業
- (5) スポーツ振興課
  - ⑦市民運動会事業
- (6) 公民館
  - ⑧市民展覧会・公民館まつり事業
- (7) 学校給食センター
  - ⑨調理事業（地産地消の推進）

## 7 評価事業の結果

### 英語教育強化推進事業（学務課）

#### 評価結果

現行どおり継続

#### 意見・提案事項（抜粋）

- 英語そのものはツールであり、重要なことは内容である（英語を使って何をするかが重要）。ぜひ英語を使った外部への発信力を高める教育を進めてほしい。
- 小中高と連続した英語教育の取組にも期待したい。
- 英検の数値目標ばかりにとらわれず、合格できなかった子どもにも意欲を持たせることができるよう、今後とも指導を進めていってほしい。

### スクールソーシャルワーカー配置事業（学務課）

#### 評価結果

現行どおり継続

#### 意見・提案事項（抜粋）

- 教員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーとの連携の在り方については様々なケースに対応できるような方法を考えていただきたい。
- 事業の大切さは十分に理解できるが、家庭からのクレームやあらゆる要求にすべて応えるのではなく、親の自己責任意識も高めていただき、学校・家庭・行政の責任の分担も考えた事業展開を。
- 事業の評価指標に、相談への振り返りなどを加えると、評価しやすくなるのではないか。

### 生活困窮者学習支援事業（生涯学習課）

#### 評価結果

改善し、継続

#### 意見・提案事項（抜粋）

- 評価できる事業であるので、受講者のアンケートに「総合的に考えて、“チャレンジスタディールーム”に参加して良かったか」といった項目を入れ段階評価をもらうなど、指標を検討していただきたい。
- 生活困窮者、社会的な問題、子ども達のため、親（ワーキングプア）のためにも、社会全体での支援が必要だと思う。
- 今後この事業をどのような方向に進めていくかという戦略が少し弱い。拡大していくのか現状維持していくのか、今後のあり方を検討していただきたい。

## 文化財活用事業（生涯学習課）

### 評価結果

改善し、継続

### 意見・提案事項（抜粋）

- 文化財の活用方法がどうしても学術的な側面ばかりになっている。考え方によってはエンターテインメント的要素を取り入れて、事業を拡大させる方法もあるのでは（文化財は今後、保守等で費用が係ることから、博物館などを参考にしてはどうか）。
- 英会話でガイドする子どもボランティアを募集するなど、地域や学務課の事業も巻き込んで、発展させていってほしい。
- 一般公開にとどまらず、歴史、観光、イベント等と連携し、発展させていけると笠間市全体で笠間の文化、歴史が伝えられるのではないかと。市の独自性を出していくこと。

## 教育情報ネットワークシステム運用管理事業（学務課）

### 評価結果

現行どおり継続

### 意見・提案事項（抜粋）

- ICT教育の充実は時代の流れの中でどうしても必要である。ただ情報機器はツールにすぎないので、何の目的で使うのかを常に検討することが大切だと思う。
- 業務の効率化のための情報化は必要であるが、効率化が本当に現場の先生方にとって有効であるのか否かについてはアンケート調査等を十分にしていきたい。
- 情報セキュリティについては十分な対応をお願いしたい。

## 図書館サービス事業（図書館）

### 評価結果

現行どおり継続

### 意見・提案事項（抜粋）

- 名著や名作についてはデジタル化を進めてもいいと思う。スペースの問題があるが、電子化によってこの問題は解決可能であると思われる。
- 文字、活字離れといわれる中、「本」「読書」「図書館」の果たす役割は年々重要になってきているので、さらに学校と連携し工夫改善していってほしい。
- 資料購入費は、流れの早い現代ではそれなりに必要である。
- 指標に、小中学生の読書量推移などを取り入れる必要を感じる。さまざまな家庭環境の子どもがどれだけ質の良い読書体験ができるかを保証していただきたい。



## 市民運動会事業（スポーツ振興課）

---

### 評価結果

改善し、継続

### 意見・提案事項（抜粋）

- 継続するのであれば、何のために開催するのか等目的、目標、位置づけ、そして評価指標を明確にする。
- プログラムが学校で行われる運動会になってしまっている。コンテストなど文化的な要素を取り入れて実施してはどうか。
- スポーツ振興課という一つの課の事業とせず、文化祭等の文化的なイベントとのコラボなど他課の事業とあわせ、他市からもお客さんが来るような魅力のある事業にしていきたい。

## 市民展覧会・公民館まつり事業（公民館）

---

### 評価結果

改善し、継続

### 意見・提案事項（抜粋）

- 出品者が固定化し、一部の専門家だけの展覧会にならないよう支援をしてほしい。
- 出品者の力量を向上させるような市民講座の充実も図っていただきたい。
- 市民に芸術的な啓蒙が広がるような努力も事業の中で行ってほしい。  
また、期間中、来場者がやってみたい部門の体験ができればすそ野が広がると思う。

## 調理事業（地産地消の推進）（学校給食センター）

---

### 評価結果

現行どおり継続

### 意見・提案事項（抜粋）

- 残菜率が全国的に見ても低い（小学校9.8%・中学校9.6%）点が高く評価できるので、こうした数値は指標に反映させてもいいと思う。良い点は積極的にPRしていただきたい。
- 食育の充実を図るためには、家庭での食の状況も考慮に入れた取組も行っていただきたい。

## 8 事業個別評価書

別紙「平成29年度笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書」による。

## 平成29年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

|  |   |                           |              |                      |                 |              |        |
|--|---|---------------------------|--------------|----------------------|-----------------|--------------|--------|
| 事務事業名  | 英語教育強化推進事業  |                           |              |                      |                 |              |        |
| 担当部署   | 学務課   | 事業費                       | 40,701千円     | 人件費                  | 3,750千円         |              |        |
| <b>事務事業概要</b>  |   |                           |              |                      |                 |              |        |
| <p>国では、グローバル化に対応した外国語教育の充実のため「英語教育の在り方に関する有識者会議」、中央教育審議会初等教育分科会教育課程部会等で審議され、小学校の英語学習の抜本的な拡充、実施学年の早期化・教科化が平成29年3月の新学習指導要領で告示された。</p> <p>本市では、外国語教育の充実に向けた英語教育強化推進事業を平成27年度より展開している。</p> |   |                           |              |                      |                 |              |        |
| <b>事務事業の目的と手段</b>  |   |                           | <b>指標の設定</b> |                      | <b>H28実績</b>    | <b>H28目標</b> |        |
| 目的   | ①対象   | 市立幼稚園、市内小中学校              | ⇨            | 対象指標                 | 市立幼稚園、市内小中学校数   | 18校          | 19校    |
|  |   |                           |              |                      | 市立園児、児童・生徒数     | 5,846人       | 5,883人 |
|  | ②事務事業の意図  | 市立幼稚園、市内小中学校へ外国語指導助手を派遣する | ⇨            | 成果指標                 | 外国語指導助手派遣学校数    | 17校          | 17校    |
| 手段   | ③目的を達成するために実際に行った行政活動   | 講師の配置及び夏季英語研修の実施          | ⇨            | 活動指標                 | 講師の配置人数         | 18人          | 18人    |
|  |   |                           |              |                      | 児童・生徒夏季英語研修参加者数 | 51人          | 60人    |
|  |   |                           |              |                      | 小学校教員夏季英語研修参加者数 | 18人          | 11人    |
|  |   |                           |              |                      | 中学校教員夏季英語研修参加者数 | 11人          | 6人     |
| <b>外部評価委員会の点検・評価</b>   |   |                           |              |                      |                 |              |        |
| 事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か   |   |                           |              | 適切 3名・概ね適切 1名・不適切 0名 |                 |              |        |
| 事務事業の現状把握及び課題の認識   |   |                           |              | 適切 3名・概ね適切 1名・不適切 0名 |                 |              |        |
| 分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている  |   |                           |              | 適切 4名・概ね適切 0名・不適切 0名 |                 |              |        |
| 今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 3名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 1名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名                                 |   |                           |              |                      |                 |              |        |
| 主な意見   | <p>○英語そのものはツールであり、重要なことはコンテンツ（内容）である（英語を使って何をすることが重要）。ぜひ英語を使った外部への発信力を高める教育を進めてほしい。</p> <p>○小中高と連続した英語教育の取組にも期待したい。</p> <p>○英検の数値目標ばかりにとらわれず、合格できなかった子どもにも意欲を持たせることができるよう、今後とも指導を進めてほしい。</p> <p>○世界で活躍できるような子ども達の育成は今後も重要な課題であり、そのためには地域の英語教育に携わる方の掘り起こしと連携が必要である。子どもや学校に拘らず、地域の方も参加していく形を模索していきたい。</p> |                           |              |                      |                 |              |        |

## 平成29年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

|  |  |                     |         |   |                   |              |               |
|--|--|---------------------|---------|---|-------------------|--------------|---------------|
| 事務事業名  | スクールソーシャルワーカー配置事業  |                     |         |   |                   |              |               |
| 担当部署   | 学務課  | 事業費                 | 4,976千円 | 人件費   | -                 | 千円           |               |
| <b>事務事業概要</b>  |  |                     |         |   |                   |              |               |
| 児童生徒が置かれている様々な環境に働き掛けることができる人材や、学校内あるいは学校の枠を超えて、関係機関等との連携をより一層強化し、児童生徒の自立を促す役割を果たすコーディネーター的な存在であるスクールソーシャルワーカーを配置する。 |  |                     |         |   |                   |              |               |
| <b>事務事業の目的と手段</b>  |  |                     |         | <b>指標の設定</b>  |                   | <b>H28実績</b> | <b>H28目標</b>  |
| 目的   | ①対象  | 市内小中学校児童生徒数         | ⇒       | 対象指標  | 児童数               | 3,614人       | -             |
|  |  |                     |         |   | 生徒数               | 2,067人       |               |
|  | ②事務事業の意図   | 学校環境の安定を図る          | ⇒       | 成果指標  | 相談件数              | 2,833人       | H28年度<br>新規事業 |
| 手段   | ③目的を達成するために実際に行った行政活動  | 児童生徒の抱える問題についての意見聴取 | ⇒       | 活動指標  | スクールソーシャルワーカー配置人数 | 3人           | -             |
| <b>外部評価委員会の点検・評価</b>   |  |                     |         |   |                   |              |               |
| 事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か   |  |                     |         | 適切 2名 ・ 概ね適切 2名 ・ 不適切 0名  |                   |              |               |
| 事務事業の現状把握及び課題の認識   |  |                     |         | 適切 3名 ・ 概ね適切 1名 ・ 不適切 0名  |                   |              |               |
| 分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている  |  |                     |         | 適切 3名 ・ 概ね適切 1名 ・ 不適切 0名  |                   |              |               |
| 今後の方向性   |  |                     |         | <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 3名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 1名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名 |                   |              |               |
| 主な意見   | ○教員、SSW（スクールソーシャルワーカー）、SC（スクールカウンセラー）との連携の在り方については様々なケースに対応できるような方法を考えていただきたい。<br>○「連携」という言葉以上に実際の成果を左右するのが、その役割に関わる方々の熱意である。SSWと教員と保護者が「子どものために」という一点で協力していける環境づくりを。<br>○相談件数から見ても必要な事業であると思われる。現場の先生方、家庭、SSW、担当部署との連携、情報交換を更に深め、より良い支援に向けていただきたい。<br>○笠間市独自のチーム、学校像を作り上げ、モデルとなってほしい。<br>○事業の大切さは十分に理解できるが、家庭からのクレームやあらゆる要求にすべて応えるのではなく、親の自己責任意識も高めていただき、学校・家庭・行政の責任の分担も考えた事業展開を。<br>○事業の評価指標に、相談への振り返りなどを加えると、評価しやすくなるのではないかと。 |                     |         |   |                   |              |               |

## 平成29年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

|   |   |  |   |          |                        |               |                |
|---|---|--|---|----------|------------------------|---------------|----------------|
| 事務事業名   | 生活困窮者学習支援事業   |  |   |          |                        |               |                |
| 担当部署  | 生涯学習課   | 事業費  | 919 千円  | 人件費      | 3,088 千円               |               |                |
| <b>事務事業概要</b>   |   |  |   |          |                        |               |                |
| <p>平成 27 年度から生活困窮者自立相談支援事業を社会福祉課が担当して開始するにあたり、内部調整により、生活困窮者就労準備支援等事業のうち、《生活困窮世帯の子どもに対する学習支援事業》を生涯学習課が担当することになった。</p> <p>当該事業は、生活困窮世帯の自立支援を目的とした事業であるが、生涯学習課で実施するにあたり、あくまでも対象者となる子どもたちの学習支援を目的として計画することとなった。</p> |   |  |   |          |                        |               |                |
| <b>事務事業の目的と手段</b>   |   |  | <b>指標の設定</b>  |          | <b>H28 実績</b>          | <b>H28 目標</b> |                |
| <b>目的</b>   | ①対象   | 要保護、準要保護世帯の<br>中学 3 年生                                 | ⇨   | 対象<br>指標 | 要保護、準要保護<br>世帯の中学 3 年生 | 95 人          | —              |
|   | ②事務事業の意図  | 学習習慣・生活習慣の確立や<br>学習意欲の向上                               | ⇨   | 成果<br>指標 | 学習支援事業<br>応募者数         | 25 人          | H28 年度<br>新規事業 |
|   |   |  |   |          | 学習支援事業<br>参加者数         | 25 人          |                |
| <b>手段</b>   | ③目的を達成するために実際に行った行政活動   | 要保護、準要保護世帯の中学<br>3 年生を対象に、笠間・友部・岩間の各公民館において、学習支援事業を実施。 | ⇨   | 活動<br>指標 | 学習支援事業<br>開催日数         | 28 日          | —              |
| <b>外部評価委員会の点検・評価</b>  |   |  |   |          |                        |               |                |
| 事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か  |   |  | 適切 2名 ・ 概ね適切 1名 ・ 不適切 1名  |          |                        |               |                |
| 事務事業の現状把握及び課題の認識  |   |  | 適切 3名 ・ 概ね適切 1名 ・ 不適切 0名  |          |                        |               |                |
| 分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている   |   |  | 適切 2名 ・ 概ね適切 1名 ・ 不適切 1名  |          |                        |               |                |
| 今後の方向性  |   |  | <input type="checkbox"/> 現行どおり継続 2名 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し、継続 2名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名 |          |                        |               |                |
| <b>主な意見</b>   | <p>○アドバイザーは元教員が多いようだが、若い学生たちの参画をもっと進めていただきたい。</p> <p>○学校、担任との連携、さらにアドバイザーについては大学との連携など、今後細部について検討する必要があると思われるが、大変重要な部分に取り組んでいるので、学校・家庭・市教委の連携を生涯学習課が中心となって進めていってほしい。</p> <p>○評価できる事業であるので、受講者のアンケートに「総合的に考えて、“チャレンジスタディールーム”に参加して良かったか」といった項目を入れ段階評価をもらうなど、指標を検討していただきたい。</p> <p>○生活困窮者、社会的な問題、子ども達のため、親（ワーキングプア）のためにも、社会全体での支援が必要だと思う。</p> <p>○今後この事業をどのような方向に進めていくかという戦略が少し弱いような気がする。<br/>拡大していくのか現状維持していくのか、今後のあり方を検討していただきたい。</p> |  |   |          |                        |               |                |

## 平成29年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

|  |  |  |   |               |               |          |       |
|--|--|--|---|---------------|---------------|----------|-------|
| 事務事業名  | 文化財活用事業  |  |   |               |               |          |       |
| 担当部署   | 生涯学習課  | 事業費  | 582 千円  | 人件費           | 1,200 千円      |          |       |
| <b>事務事業概要</b>  |  |  |   |               |               |          |       |
| <p>市内には多数の貴重な指定文化財がある。(国指定8、県指定20、市指定119)</p> <p>しかし、彫刻・工芸品・書籍等の文化財は、普段屋内に保管されており、一般の方が目にする機会がない状況にあるため、文化財管理者の協力を得て、公開日を定め特別に公開することにより、文化財への関心を高めるとともに、笠間を知り学ぶ機会を提供する。</p> <p>公開にあたっては、茨城大学・笠間市史研究員等の協力を得て、来場者への対応を行っていく。</p> |  |  |   |               |               |          |       |
| <b>事務事業の目的と手段</b>  |  |  | <b>指標の設定</b>  | <b>H28 実績</b> | <b>H28 目標</b> |          |       |
| 目的   | ①対象  | 市民   | ⇨   | 対象指標          | 市民            | 77,271 人 | —     |
|  | ②事務事業の意図   | 地元にある貴重な文化財を鑑賞する機会を提供し、文化財に対する理解と、地元笠間を知り・学ぶ | ⇨   | 成果指標          | 入場者数          | 2,380 人  | 200 人 |
| 手段   | ③目的を達成するために実際に行った行政活動  | 文化財の特別公開                                     | ⇨   | 活動指標          | 公開箇所数         | 4 か所     | 8 か所  |
| <b>外部評価委員会の点検・評価</b>   |  |  |   |               |               |          |       |
| 事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か   |  |  | 適切 3名・概ね適切 1名・不適切 0名  |               |               |          |       |
| 事務事業の現状把握及び課題の認識   |  |  | 適切 3名・概ね適切 1名・不適切 0名  |               |               |          |       |
| 分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている  |  |  | 適切 2名・概ね適切 2名・不適切 0名  |               |               |          |       |
| 今後の方向性   |  |  | <input type="checkbox"/> 現行どおり継続 2名 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し、継続 2名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名 |               |               |          |       |
| 主な意見   | <p>○文化財の活用方法がどうしても学術的な側面ばかりになっている。考え方によってはエンターテインメント的要素を取り入れて、事業を拡大させる方法もあるのでは(文化財は今後、保守等で費用が係ることから、博物館などを参考にしているかどうか)。</p> <p>○一般公開にとどまらず、歴史、観光、イベント等と連携し、発展させていけると笠間市全体で笠間の文化、歴史が伝えられるのではないかと。市の独自性を出していくこと。</p> <p>○英語教育強化推進事業と連携させて、子どもたちが外国人に対して英語で文化財を説明する活動もできるのでは。</p> <p>○英会話でガイドする子どもボランティアを募集するなど、地域や学務課の事業も巻き込んで発展させてほしい。</p> <p>○外国観光客へも配慮してパンフレットを英語にするなど、外に向けて事業を発信することも考えていただきたい。</p> <p>○市の良さを知り、学び愛することができるような方向性で文化財を見つめていくような事業にしてほしい。</p> <p>○小学生の授業「笠間志学」の中に、実地見学のカリキュラムを入れることが必要かと思われる。</p> <p>○予算を増やして事業を進めてほしい。</p> |  |   |               |               |          |       |

## 平成29年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

|  |  |                        |              |   |               |               |       |
|--|--|------------------------|--------------|---|---------------|---------------|-------|
| 事務事業名  | 教育情報ネットワークシステム運用管理事業   |                        |              |   |               |               |       |
| 担当部署   | 学務課  | 事業費                    | 36,705 千円    | 人件費   | － 千円          |               |       |
| <b>事務事業概要</b>  |  |                        |              |   |               |               |       |
| <p>教育環境の充実に向けて、教職員の校務事務軽量化のため、各学校と教育委員会とを結ぶイントラネットを使用して、笠間市教育情報ネットワークを整備し、校務の軽量化の為に校務支援システムの整備やセキュリティを確保した運用が可能なサーバー等を整備してきた。</p> <p>教職員のICTスキルの向上に向けた事業を実施してきた。</p> |  |                        |              |   |               |               |       |
| <b>事務事業の目的と手段</b>  |  |                        | <b>指標の設定</b> |   | <b>H28 実績</b> | <b>H28 目標</b> |       |
| 目的   | ①対象  | 教職員                    | ⇒            | 対象指標  | パソコンの配布数      | 451 台         | 450 台 |
|  | ②事務事業の意図   | 校務のICT化の促進             | ⇒            | 成果指標  | 情報担当者会議開催回数   | 3 回           | 3 回   |
| 手段   | ③目的を達成するために実際に行った行政活動  | 教育情報ネットワークシステムの運用管理を実施 | ⇒            | 活動指標  | 保守委託契約の締結件数   | 6 件           | 9 件   |
| <b>外部評価委員会の点検・評価</b>   |  |                        |              |   |               |               |       |
| 事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か   |  |                        |              | 適切 3名・概ね適切 0名・不適切 2名  |               |               |       |
| 事務事業の現状把握及び課題の認識   |  |                        |              | 適切 3名・概ね適切 2名・不適切 0名  |               |               |       |
| 分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている  |  |                        |              | 適切 2名・概ね適切 3名・不適切 0名  |               |               |       |
| 今後の方向性   |  |                        |              | <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 3名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 2名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名 |               |               |       |
| 主な意見   | <p>○ICT教育の充実は時代の流れの中でどうしても必要である。ただ、情報機器はツールにすぎないものなので、何の目的で使うのかを常に検討することが大切だと思う。</p> <p>○将来、世の中を背負う人物を育てられるように、機械のみではなく総合的な教育システムになるように考えてもらいたい。</p> <p>○業務の効率化のための情報化は必要であるが、効率化が本当に現場の先生方にとって有効であるのか否かについてはアンケート調査等を十分にしていきたい。</p> <p>○現場にアンケートを行うことで意見を聞き、改良していくことで指標を定めることが可能になると考える。</p> <p>○実質的な事務作業軽減になっていくよう、教委と現場との密な情報交換をお願いしたい。</p> <p>○先生方の校務事務軽量化のためではあるが、使用に対しての予算を考えると、何らかの改善が必要ではないか。</p> <p>○成績その他の個人情報等の管理などには必要かもしれないが、費用対効果を考えるべきである。</p> <p>○メンテナンスなどは業者に一括依頼であると思うが、費用対効果を考え、業者指定を行ってほしい。</p> <p>○情報セキュリティについては十分な対応をお願いしたい。</p> |                        |              |   |               |               |       |

平成29年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

|  |                       |  |             |       |                                  |  |  |
|--|-----------------------|--|-------------|-------|----------------------------------|--|--|
| 事務事業名  |                       | 図書館サービス事業  |             |       |                                  |  |  |
| 担当部署   | 図書館                   | 事業費  | 笠間 42,925   | 人件費   | 笠間 43,767                        |  |  |
|  |                       |  | 友部 1,434 千円 |       | 友部 52,108 千円                     |  |  |
|  |                       |  | 岩間 480      |       | 岩間 28,734                        |  |  |
| <b>事務事業概要</b>  |                       |  |             |       |                                  |  |  |
| <p>図書館法に基づき、平成6年に開館し、市民生活に必要な図書館資料（図書、記録その他必要な資料）を収集・整理・保存して、市民一般の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的として図書館サービスを展開している。生涯学習の時代に、市民誰もが学び、市民生活に生かせるよう各種の資料をはじめ、必要な情報や機会の提供を行っている。</p> |                       |  |             |       |                                  |  |  |
| 事務事業の目的と手段   |                       |  |             | 指標の設定 | H28実績                            | H28目標  |  |
| 目的   | ①対象                   | 利用者・市民   | ⇒           | 対象指標  | 各地区市民                            | 笠間 26,231 人<br>友部 35,973 人<br>岩間 15,271 人    | 笠間 27,000 人<br>友部 35,900 人<br>岩間 15,500 人    |
|  | ②事務事業の意図              | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民生活の質を高め、豊かで安心できるものとなるよう様々な学習機会・情報が得られる。</li> <li>市民、利用者からの資料案内・調査（レファレンス）に的確に応える。</li> <li>事業への参加を通して子育て支援が得られ、読書活動や図書館利用が盛んになる。</li> </ul> | ⇒           | 成果指標  | 入館者数                             | 笠間 260,488 人<br>友部 228,126 人<br>岩間 110,995 人 | 笠間 280,000 人<br>友部 250,000 人<br>岩間 120,000 人 |
|  |                       |  |             |       | 資料貸出冊・点数                         | 笠間 450,084 冊<br>友部 454,256 冊<br>岩間 200,766 冊 | 笠間 570,000 冊<br>友部 500,000 冊<br>岩間 231,000 冊 |
| おはなし会・読書フェスティバル参加者   |                       |  |             |       | 笠間 554 人<br>友部 719 人<br>岩間 481 人 | 笠間 1,500 人<br>友部 4,300 人<br>岩間 380 人         |  |
| 手段   | ③目的を達成するために実際に行った行政活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の要望に応じた、様々な観点で資料、情報、学習機会を提供する。</li> <li>様々なテーマに基づき、レファレンス事例の保存活用を図る。</li> <li>図書館資料を充実し、確保する。</li> <li>各種子ども読書活動推進事業を開催する。</li> </ul>      | ⇒           | 活動指標  | 開館日数                             | 笠間 292 日<br>友部 292 日<br>岩間 291 日             | 笠間 298 日<br>友部 298 日<br>岩間 297 日             |
|  |                       |  |             |       | 開館時間                             | 笠間 2,913 時間<br>友部 2,913 時間<br>岩間 2,905 時間    | 笠間 2,975 時間<br>友部 2,965 時間<br>岩間 2,965 時間    |
|  |                       |  |             |       | 資料購入点数                           | 笠間 6,566 点<br>友部 6,375 点<br>岩間 3,367 点       | 笠間 6,830 点<br>友部 6,830 点<br>岩間 3,400 点       |
|  |                       |  |             |       | おはなし会・読書フェスティバル開催日数              | 笠間 66 日<br>友部 61 日<br>岩間 47 日                | 笠間 80 日<br>友部 89 日<br>岩間 52 日                |



| 外部評価委員会の点検・評価           |   |
|-------------------------|---|
| 事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か  | 適切 5名・概ね適切 0名・不適切 0名  |
| 事務事業の現状把握及び課題の認識        | 適切 5名・概ね適切 0名・不適切 0名  |
| 分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている | 適切 4名・概ね適切 1名・不適切 0名  |
| 今後の方向性                  | <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 4名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 1名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名   |
| 主な意見                    | <p>○地域に根差した文書や資料の保存等については充実させてほしい。活字離れが問題となっている今日、「本」を作ることの大変さを利用者に伝えるイベント等を計画していただきたい。</p> <p>○名著や名作についてはデジタル化を進めてもいいと思う。スペースの問題があるが、電子化によってこの問題は解決可能であると思われる。</p> <p>○文字、活字離れといわれる中、「本」「読書」「図書館」の果たす役割は年々重要になってきていますので、さらに学校と連携し工夫改善して行ってほしい。</p> <p>○学校の課題として伝記を読むということを夏休みに行ったところ、近くの図書館の伝記コーナーの本がなくなって困ってしまったことがあった。学校と連携し工夫することは可能か。</p> <p>○資料購入費は、流れの早い現代ではそれなりに必要であるので、購入費の安定した予算どりが重要である。</p> <p>○各館が地域の特性を生かした書籍をそろえることも大事と考える。市民も、種別によって各館を選んで訪れると思う。</p> <p>○指標に、小中学生の読書量推移などを取り入れる必要を感じる。さまざまな家庭環境の子どもがどれだけ質の良い読書体験ができるかを保証していただきたい。</p> <p>○現在各学校への団体貸し出しを実施していますが、今後、放課後児童クラブに対しての団体貸し出し（学校と同じような方法で）を検討いただきたい。</p> <p>○各小学校図書館への常駐司書の配置が急務。それによって本の入れ替え、活性化、読書量の増加が図られると考える。</p> |

## 平成29年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

|   |  |                              |   |      |               |               |                |
|---|--|------------------------------|---|------|---------------|---------------|----------------|
| 事務事業名   | 市民運動会事業  |                              |   |      |               |               |                |
| 担当部署  | スポーツ振興課  | 事業費                          | 7,453 千円  | 人件費  | － 千円          |               |                |
| <b>事務事業概要</b>   |  |                              |   |      |               |               |                |
| <p>平成 27 年度に合併 10 周年を記念して開催した「かさま市民運動会」。平成 28 年度より、笠間市民の一体感をさらに醸成し、将来に向かって夢や希望にあふれる本市のさらなる飛躍につなげるため、まちづくりの基礎となる市民が総参加で実施するスポーツの祭典「市民運動会」を開催する。</p> <p>幼児から高齢者まで市民総参加のスポーツの祭典とし、種目は誰でも気軽にエントリーなしで参加できる「自由種目」と小学校区・小中学校対抗などの「対抗種目」のほか、遊戯や団体発表などを行う。</p> |  |                              |   |      |               |               |                |
| <b>事務事業の目的と手段</b>   |  |                              | <b>指標の設定</b>  |      | <b>H28 実績</b> | <b>H28 目標</b> |                |
| 目的  | ①対象  | 市民                           | ⇒   | 対象指標 | 市民            | 4,000 人       | －              |
|   | ②事務事業の意図   | 市民総参加の市民運動会を実施し、一体感をさらに醸成する。 | ⇒   | 成果指標 | 参加者数          | 2,500 人       | H28 年度<br>新規事業 |
| 手段  | ③目的を達成するために実際に行った行政活動  | かさま市民運動会の開催                  | ⇒   | 活動指標 | 開催回数          | 1 回           | －              |
| <b>外部評価委員会の点検・評価</b>  |  |                              |   |      |               |               |                |
| 事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か  |  |                              | 適切 0 名 ・ 概ね適切 3 名 ・ 不適切 2 名   |      |               |               |                |
| 事務事業の現状把握及び課題の認識  |  |                              | 適切 0 名 ・ 概ね適切 5 名 ・ 不適切 0 名   |      |               |               |                |
| 分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている   |  |                              | 適切 0 名 ・ 概ね適切 3 名 ・ 不適切 2 名   |      |               |               |                |
| 今後の方向性  |  |                              | <input type="checkbox"/> 現行どおり継続 0 名 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し、継続 5 名 <input type="checkbox"/> 休止 0 名 <input type="checkbox"/> 廃止 0 名 |      |               |               |                |
| 主な意見  | <p>○継続するのであれば、何のために開催するのか等目的、目標、位置づけ、そして評価指標を明確にする。</p> <p>○プログラムが学校で行われる運動会になってしまっている。コンテストなど文化的な要素を取り入れて実施してはどうか。</p> <p>○今後継続させていくための方法として、年齢的な部分も含め、各種イベントとの連携等を考慮し、市民の参加しやすい運動会を目指していただければ。</p> <p>○3 地区が協力しないと成り立たない競技など、地区の市民が地区外の方と積極的に交流を図ることのできる内容にしていただきたい。</p> <p>○運動会としては予算が高額に思える。努力が必要では。</p> <p>○スポーツ振興課という一つの課の事業とせず、文化祭等の文化的なイベントとのコラボなど他課の事業とあわせ、他市からもお客さんが来るような魅力のある事業にしていきたい。</p> |                              |   |      |               |               |                |

平成29年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

|   |   |                                     |                              |   |                                     |                                    |                                      |
|---|---|-------------------------------------|------------------------------|---|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 事務事業名   | 市民展覧会・公民館まつり事業  |                                     |                              |   |                                     |                                    |                                      |
| 担当部署  | 公民館   | 事業費                                 | 笠間 676<br>友部 117 千円<br>岩間 34 | 人件費   | 笠間 3,000<br>友部 5,127 千円<br>岩間 4,500 |                                    |                                      |
| 事務事業概要  |   |                                     |                              |   |                                     |                                    |                                      |
| 市民展覧会は、多くの芸術創作を試みる市民から作品を公募し、広く市民が芸術を鑑賞できる機会を設けるものである。公民館まつりは、公民館を利用する各団体で取得した技術の成果と発表の場を設けることにより、市民相互における文化交流を目的としている。 |   |                                     |                              |   |                                     |                                    |                                      |
| 事務事業の目的と手段  |   | 指標の設定                               |                              | H28実績   |                                     | H28目標                              |                                      |
| 目的  | ①対象   | 一般市民                                | ⇨                            | 対象指標  | 参加団体数                               | 笠間 35 団体<br>友部 81 団体<br>岩間 46 団体   | 笠間 35 団体<br>友部 90 団体<br>岩間 46 団体     |
|   |   |                                     |                              |   | 開催日数                                | 笠間 5 日<br>友部 5 日<br>岩間 5 日         | 笠間 5 日<br>友部 5 日<br>岩間 5 日           |
|   |   |                                     |                              |   | 作品点数                                | 笠間 491 点<br>友部 1,950 点<br>岩間 710 点 | 笠間 1,000 点<br>友部 2,000 点<br>岩間 710 点 |
|   | ②事務事業の<br>意図  | 市民の作品を鑑賞できる機会を設け、芸術振興を図る。           | ⇨                            | 成果指標  | 参加団体数                               | 笠間 35 団体<br>友部 81 団体<br>岩間 46 団体   | 笠間 35 団体<br>友部 90 団体<br>岩間 46 団体     |
|   |   |                                     |                              |   | 開催日数                                | 笠間 5 日<br>友部 5 日<br>岩間 5 日         | 笠間 5 日<br>友部 5 日<br>岩間 5 日           |
|   |   |                                     |                              |   | 作品点数                                | 笠間 491 点<br>友部 1,950 点<br>岩間 710 点 | 笠間 1,000 点<br>友部 2,000 点<br>岩間 710 点 |
| 手段  | ③目的を達成するために<br>実際に行った<br>行政活動   | 市民に作品や発表の公募をし、設定した開催期間で多くの作品を発表をする。 | ⇨                            | 活動指標  | 参加団体数                               | 笠間 35 団体<br>友部 81 団体<br>岩間 46 団体   | 笠間 35 団体<br>友部 90 団体<br>岩間 46 団体     |
|   |   |                                     |                              |   | 開催日数                                | 笠間 5 日<br>友部 5 日<br>岩間 5 日         | 笠間 5 日<br>友部 5 日<br>岩間 5 日           |
|   |   |                                     |                              |   | 作品点数                                | 笠間 491 点<br>友部 1,950 点<br>岩間 710 点 | 笠間 1,000 点<br>友部 2,000 点<br>岩間 710 点 |
| 外部評価委員会の点検・評価   |   |                                     |                              |   |                                     |                                    |                                      |
| 事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か  |   |                                     |                              | 適切 2名・概ね適切 1名・不適切 0名  |                                     |                                    |                                      |
| 事務事業の現状把握及び課題の認識  |   |                                     |                              | 適切 1名・概ね適切 2名・不適切 0名  |                                     |                                    |                                      |
| 分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている   |   |                                     |                              | 適切 1名・概ね適切 2名・不適切 0名  |                                     |                                    |                                      |
| 今後の方向性  |   |                                     |                              | <input type="checkbox"/> 現行どおり継続 1名 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し、継続 2名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名 |                                     |                                    |                                      |
| 主な意見  | ○出品者が固定化し、一部の専門家だけの展覧会にならないよう支援をしてほしい。<br>○出品者の力量を向上させるような市民講座の充実も図っていただきたい。<br>○市民に芸術的な啓蒙が広がるような努力も事業の中で行ってほしい。<br>また、期間中、来場者がやってみたい部門の体験ができればそ野が広がると思う。 |                                     |                              |   |                                     |                                    |                                      |

## 平成29年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

|  |   |   |            |                          |                      |                        |                        |    |
|--|---|---|------------|--------------------------|----------------------|------------------------|------------------------|----|
| 事務事業名  |   | 調理事業（地産地消の推進）   |            |                          |                      |                        |                        |    |
| 担当部署   |   | 学校給食センター  | <b>事業費</b> | 笠間 181,419<br>岩間 110,001 | 千円                   | <b>人件費</b>             | 笠間 5,873<br>岩間 5,400   | 千円 |
| <b>事務事業概要</b>  |   |   |            |                          |                      |                        |                        |    |
| <p>児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供するため、食中毒の予防対策等の衛生管理を徹底するとともに学校給食に対する知識理解を深めるため調理従事者に対し講習会等を実施する。（安全で安心な学校給食を提供）</p> <p>また、児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供するとともに、地域資源を活用した食育や地産地消に取り組む。（地域の活性化、健康的な食生活の実現、旬と食文化への理解、生産者との結びつき等）</p> |   |   |            |                          |                      |                        |                        |    |
| <b>事務事業の目的と手段</b>  |   |   |            | <b>指標の設定</b>             |                      | <b>H28実績</b>           | <b>H28目標</b>           |    |
| <b>目的</b>  | ①対象   | 笠間地区小中学校児童・生徒・教職員等<br>友部・岩間地区小中学校児童・生徒・教職員等<br>(米飯のみ対象) | ⇨          | <b>対象指標</b>              | 地区小中学校児童・生徒・教職員等数    | 笠間 2,018人<br>岩間 1,233人 | 笠間 2,060人<br>岩間 1,230人 |    |
|  | ②事務事業の意図  | 安全で安心な学校給食の提供   | ⇨          | <b>成果指標</b>              | 食中毒発生件数              | 0回                     | 0回                     |    |
| <b>手段</b>  | ③目的を達成するために実際に行った行政活動   | 衛生管理の徹底、研修会・講習会への参加による学校給食に対する意識の高揚                     | ⇨          | <b>活動指標</b>              | 年間給食回数               | 笠間 197回<br>岩間 198回     | 笠間 197回<br>岩間 197回     |    |
|  |   |   |            |                          | 給食従事者の研修・講習会参加回数     | 笠間 27回<br>岩間 35回       | 笠間 26回<br>岩間 26回       |    |
| <b>外部評価委員会の点検・評価</b>   |   |   |            |                          |                      |                        |                        |    |
| 事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か   |   |   |            |                          | 適切 3名・概ね適切 0名・不適切 0名 |                        |                        |    |
| 事務事業の現状把握及び課題の認識   |   |   |            |                          | 適切 3名・概ね適切 0名・不適切 0名 |                        |                        |    |
| 分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている  |   |   |            |                          | 適切 3名・概ね適切 0名・不適切 0名 |                        |                        |    |
| 今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 3名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 0名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名   |   |   |            |                          |                      |                        |                        |    |
| <b>主な意見</b>  | <p>○残菜率が全国的に見ても低い（小学校9.8％・中学校9.6％）点が高く評価できるので、こうした数値は指標に反映させてもいいと思う。良い点は積極的にPRしていただきたい。</p> <p>○食育の充実を図るためには、家庭での食の状況も考慮に入れた取組も行っていただきたい。</p> |   |            |                          |                      |                        |                        |    |

評価事業に関する笠間市教育振興基本計画指標

(1) 評価番号1 英語教育強化推進事業

| 指標名            | H27<br>基準値 | H28<br>実績 | H33<br>目標 | 具体的な取組                          |
|----------------|------------|-----------|-----------|---------------------------------|
| 英語検定試験5級以上の合格率 | 13.8%      | 15.3%     | 30.0%     | 小学6年生への公費助成機会の拡充<br>(年1回から年2回へ) |
| 英語検定試験3級以上の合格率 | 22.6%      | 23.3%     | 50.0%     | 中学3年生への公費助成機会の拡充<br>(年2回から年3回へ) |

(2) 評価番号2 スクールソーシャルワーカー配置事業

| 指標名                      | H27<br>基準値 | H28<br>実績 | H33<br>目標 | 具体的な取組                             |
|--------------------------|------------|-----------|-----------|------------------------------------|
| 不登校(30日以上)児童の割合<br>(小学生) | 0.4%       | 0.5%      | 0%        | 教育相談体制の充実を進め、不登校の<br>早期発見と早期対応をする。 |
| 不登校(30日以上)児童の割合<br>(中学生) | 4.0%       | 3.0%      | 0%        | 教育相談体制の充実を進め、不登校の<br>早期発見と早期対応をする。 |

(3) 評価番号4 文化財活用事業

| 指標名         | H27<br>基準値 | H28<br>実績 | H33<br>目標 | 具体的な取組      |
|-------------|------------|-----------|-----------|-------------|
| 「文化財公開」来場者数 | —          | 2,380人    | 3,000人    | 公開箇所を増やしていく |

(4) 評価番号6 図書館サービス事業

| 指標名                   | H27<br>基準値 | H28<br>実績 | H33<br>目標 | 具体的な取組                             |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|------------------------------------|
| 図書館利用新規<br>登録者数       | 2,335人     | 2,140人    | 2,210人    | としょかん1年生事業で新1年生<br>の登録を促進した。       |
| 図書館蔵書点数               | 570,456点   | 582,955点  | 653,000点  | 利用者のニーズに対応できる資料<br>の整理保存を実施した。     |
| 図書館資料案内件数<br>(レファレンス) | 6,462件     | 6,007件    | 5,500件    | 分かりやすい検索・配置を整備し<br>た。              |
| 公式ツイッター<br>フォロワー数     | 1,285人     | 1,953人    | 3,800人    | イベントや資料等に関する情報発<br>信に努めた。          |
| 団体貸出数                 | 10,132点    | 9,942点    | 11,000点   | 資料の充実を図り、施設や児童ク<br>ラブ等に資料の提供を実施した。 |
| 学校等への貸出点数             | 4,784点     | 6,379点    | 4,800点    | 資料の充実を図り、授業に必要な<br>資料の提供を実施した。     |

(5) 評価番号7 市民運動会事業

| 指標名                 | H27<br>基準値 | H28<br>実績 | H33<br>目標 | 具体的な取組                    |
|---------------------|------------|-----------|-----------|---------------------------|
| スポーツ大会・教室<br>参加者数   | 9,025 人    | 9,017 人   | 9,351 人   |                           |
| 学校体育施設開放<br>事業利用団体数 | 158 団体     | 161 団体    | 170 団体    |                           |
| スポーツ施設<br>利用者数      | 267,980 人  | 340,702 人 | 271,980 人 |                           |
| スポーツ少年団<br>指導者の有資格率 | 66.3%      | 67.6%     | 69.2%     | 認定指導者講習会笠間市<br>会場開催 (H29) |
| スポーツ少年団<br>加入率      | 15.0%      | 15.0%     | 20.0%     |                           |

(6) 評価番号9 調理事業

| 指標名                                    | H27<br>基準値 | H28<br>実績 | H33<br>目標 | 具体的な取組 |
|--|------------|-----------|-----------|--------|
| 地産地消強化月間(11月)に<br>おける地場産物の給食への活<br>用状況 | 63.0%      | 72.2%     | 64.0%     |        |

## 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員の選任状況(平成29年3月31日現在)

| 職 名      | 氏 名     | 備 考                    |
|----------|---------|------------------------|
| 教 育 長    | 今 泉 寛   | 委員任期 H27.6.24~H30.6.23 |
| 教育長職務代理者 | 平 澤 憲 次 | 委員任期 H26.6.24~H30.6.23 |
| 委 員      | 小野瀬 彰   | 委員任期 H25.6.24~H29.6.23 |
| 委 員      | 永 井 秀 雄 | 委員任期 H27.6.24~H31.6.23 |
| 委 員      | 梅 里 節 子 | 委員任期 H28.6.24~H32.6.23 |

(2) 教育委員会会議の開催状況

### 平成28年度 教育委員会会議開催状況

|         | 定例会 | 臨時会 | 教育委員協議会等 |
|---------|-----|-----|----------|
| 実施回数(回) | 11  | 3   | 11       |
| 議案件数(件) | 32  | 5   | —        |
| 報告件数(件) | 17  | 0   | —        |

平成28年 4月26日(火) 第4回教育委員会定例会

報告案件

- 報告第2号 高齢者叙勲の推薦について
- 報告第3号 笠間市立学校評議員の委嘱について
- 報告第4号 笠間市教育支援委員会委員の委嘱及び任命について
- 報告第5号 笠間市教育支援委員会調査員の委嘱及び任命について
- 報告第6号 笠間市社会教育委員並びに公民館運営審議会委員の委嘱について
- 報告第7号 笠間市スポーツ推進委員の委嘱について

平成28年 5月20日(金) 第5回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第25号 笠間市教育振興基本計画策定委員の委嘱について
- 議案第26号 平成28年第2回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

報告案件

- 報告第8号 笠間市図書館協議会委員並びに笠間市子ども読書活動推進会議委員の任命について
- 報告第9号 笠間市教育振興基本計画策定委員会設置要綱の一部改正について

平成28年 6月21日(火) 第6回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第27号 笠間市スポーツ推進審議会委員の任命について

報告案件

- 報告第10号 参議院議員通常選挙における職員の兼務(充当, 事務従事)の協議について

平成28年 7月19日(火) 第7回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第28号 平成29年度小・中学校において使用する教科用図書並びに小・中学校特別支援学級(知的障害)において使用する教科用図書の採択について

報告案件

- 報告第11号 高齢者叙勲の推薦について

平成28年 8月23日(火) 第8回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第29号 笠間市教育委員会事務局職員の人事異動について
- 議案第30号 笠間市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について
- 議案第31号 平成28年第3回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

報告案件

- 報告第12号 叙位叙勲の推薦について

平成28年 9月27日(火) 第9回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第32号 笠間市民体育館の設置及び管理に関する条例施行規則等の一部を改正する規則について
- 議案第33号 平成29年度笠間市教育委員会事務局職員の人事異動について

報告案件

- 報告第13号 叙位叙勲の推薦について

平成28年10月19日(水) 第10回教育委員会定例会

審議案件なし

平成28年10月27日(木) 第2回教育委員会臨時会

審議案件

- 議案第34号 平成28年第1回笠間市議会臨時会提出議案に同意することについて

平成28年11月21日(月) 第11回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第35号 平成28年度笠間市教育委員会外部評価報告書について
- 議案第36号 笠間市立小中学校学区審議会への諮問について
- 議案第37号 笠間市体育施設における利用料金の額の承認について
- 議案第38号 平成28年第4回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

報告案件

- 報告第14号 死亡叙位叙勲の推薦について
- 報告第15号 笠間市立小中学校学区審議会委員の委嘱について



平成28年12月20日(火) 第12回教育委員会定例会

審議案件なし

平成29年 1月18日(木) 第1回教育委員会臨時会

審議案件

議案第1号 平成29年第1回笠間市議会臨時会提出議案に同意することについて

平成29年 1月27日(金) 第1回教育委員会定例会

審議案件

議案第2号 笠間市立笠間公民館ふれあいルームに関する運営要綱の一部改正について

報告案件

報告第1号 笠間市立小中学校学区審議会委員の解職及び委嘱について

報告第2号 笠間市資料館運営委員の解職及び委嘱について

報告第3号 笠間市スポーツ推進審議会委員の解任及び任命について

平成29年 2月17日(金) 第2回教育委員会定例会

審議案件

議案第3号 平成29年度笠間市教育委員会事務局職員の人事異動について

議案第4号 笠間市立学校管理規則等の一部を改正する等の規則について

議案第5号 笠間市立小中学校学区に関する規則の一部を改正する規則について

議案第6号 笠間市立小学校遠距離通学費補助金等交付に関する要綱等の一部改正及び廃止について

議案第7号 笠間市教育委員会事務局処務規程等の一部改正について

議案第8号 笠間市立小中学校児童生徒各種大会参加補助金交付要綱の制定について

議案第9号 笠間市教育振興基本計画について

議案第10号 平成29年第1回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

平成29年 3月15日(水) 第2回教育委員会臨時会

審議案件

議案第11号 平成29年度笠間市教育委員会事務局職員の人事異動について

議案第12号 校長の人事内申について

議案第13号 笠間市立学校歯科医の解職及び委嘱並びに学校医の担当校変更について

審議案件

- 議案第14号 笠間市立学校評議員の委嘱について
- 議案第15号 笠間市教育相談員の委嘱について
- 議案第16号 笠間市教育指導員の委嘱について
- 議案第17号 笠間市資料館運営委員の委嘱について
- 議案第18号 市史研究員の委嘱について
- 議案第19号 笠間市立学校薬剤師の解職及び委嘱について

報告案件

- 報告第4号 叙位の推薦について

(3) 教育委員会会議以外の活動(各種会議・研修会・学校訪問等)

|         |  |
|---------|--|
| 平成28年4月 | <p>教職員辞令交付式<br/>           幼稚園及び小中学校入学式<br/>           茨城県都市教育長協議会総会<br/>           茨城県市町村教育長協議会総会<br/>           茨城県市町村教育長・学校長会議<br/>           笠間市教育研究会定期総会<br/>           笠間市スポーツ推進委員協議会総会<br/>           笠間市文化財愛護協会総会</p>  |
| 5月      | <p>第1回笠間市総合教育会議<br/>           関東地区都市教育長協議会総会<br/>           全国都市教育長協議会定期総会<br/>           笠間市総合体育大会<br/>           茨城県市町村教育委員会連合会定期総会<br/>           市町村教育委員会教育長会議<br/>           関東甲信越静岡市町村教育委員会協議会総会及び研修会<br/>           笠間市PTA連絡協議会総会<br/>           第1回笠間市文化財保護審議会<br/>           笠間市体育協会総会</p> |
| 6月      | <p>平成28年度教科用図書選定協議会<br/>           いじめ防止・不登校対策委員会<br/>           平成28年度「いばらき教育応援団」合同研修会<br/>           教育振興基本計画策定委員会</p>   |
| 7月      | <p>笠間市PTA連絡協議会指導者研修会<br/>           学校警察連絡協議会<br/>           管内市町村教育委員会教育長<br/>           笠間市小学校相撲大会<br/>           茨城県市町村教育長協議会夏期研修会・情報交換会</p>  |

|         |   |
|---------|---|
| 8月      | 第15回全国高等学校合気道演武大会<br>第53回教育者研究会<br>平成28年度中学校関東・全国大会出場選手報告会  |
| 9月      | 小学校運動会, 中学校体育祭<br>市町村教育委員会教育長等会議<br>体罰防止研修会<br>幼児教育研修会  |
| 10月     | 幼稚園運動会<br>笠間市教育委員会外部評価委員会<br>2016かさま市民運動会<br>茨城県市町村教育委員会教育委員研修会<br>全国ICT教育首長協議会<br>管内人事異動に係る市町村教育委員会教育長会議 |
| 11月     | 歴史フォーラム<br>市町村教育委員会教育長会議<br>笠間市総合教育会議<br>水戸地区青少年育成市長民会議連絡会研究協議会   |
| 12月     | 教育支援委員会<br>学校経営研修会<br>かさま陶芸の里ハーフマラソン大会  |
| 平成29年1月 | 笠間市成人式<br>市町村教育委員会教育長等会議<br>県下中学校交歓笠間市駅伝大会<br>平成28年度教育研究公開シンポジウム<br>笠間市教育委員会教育実践発表会                       |
| 2月      | 茨城県市町村教育長協議会冬期研修会<br>第4回いばらきっ子郷土検定県大会<br>県央公民館連絡協議会第2回研修会<br>全国ICT教育首長サミット                                |
| 3月      | 幼稚園卒園式及び小・中学校卒業式<br>英語教育セミナー in かさま<br>笠間市人権教育講演会<br>茨城国際音楽アカデミー in かさま<br>教職員辞令交付式                       |

# 笠間市教育委員会外部評価委員会設置要綱

平成22年9月17日  
教育委員会告示第16号

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、笠間市教育委員会(以下「教育委員会」という)の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、第三者による点検及び評価を実施することにより、教育行政に対する透明性を確保するとともに、市民への説明責任を果たすため、笠間市教育委員会外部評価委員会(以下「委員会」という)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、教育委員会が実施する施策や事業等の点検及び評価を行う。

(組織)

第3条 委員会は、5人以内の委員で組織する。

2 委員は、教育に見識を有するものの中から教育長が委嘱する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員の中から委員長が指名する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、会議の議長となる。ただし、最初に行われる会議は、教育長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員長は、必要があると認めるときは、委員会において関係者の出席を求め、意見又は説明を聞くことができる。

5 委員会の会議は、公開とする。ただし、委員会の決定があったときは、非公開とすることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、学務課において処理する。

(委任)

第8条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。